

観光立国の実現は地方(地域)から

2019年の業績「落ち込む」が増加

旅館・ホテル経営アンケート 観光経済新聞社 調査

週刊



宿泊・旅行業 運輸・自治体 (観光全般)

新年号 第2部

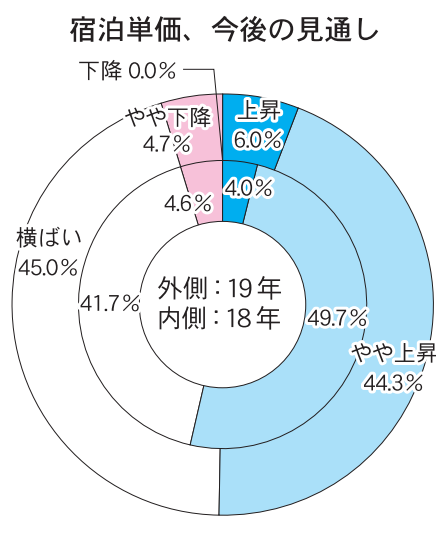
この調査は、往復アンケートはがきを2019年11月に郵送し、日本旅館協会の会員などの旅館・ホテルに19年の業績見込みの20年の業績見込みの宿泊単価の見込みの経営の課題の旅行会社、OTA、直販の各営業販売比率の旅行会社、OTAの実質的な手数料率(企画手数料、ポイント負担、ネット広告などを含め)の手数料

調査の概要

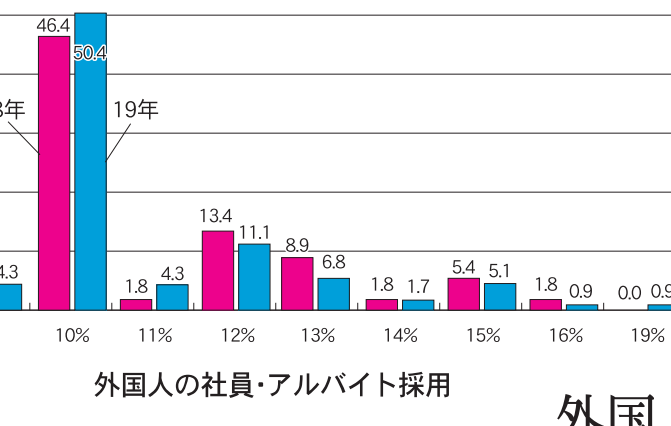
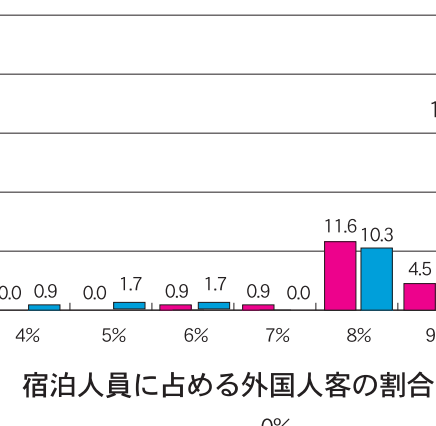
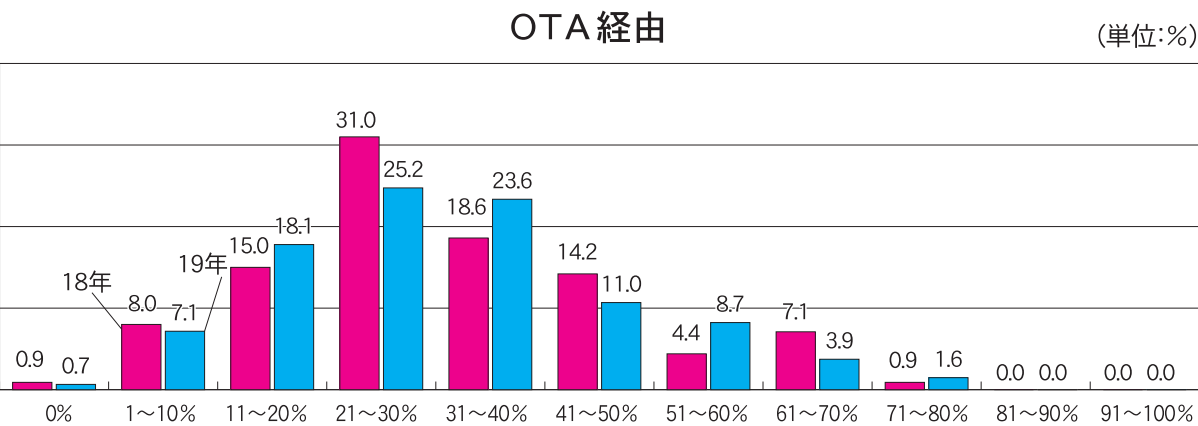
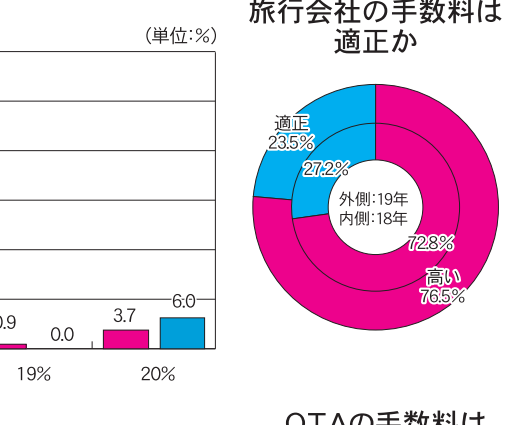
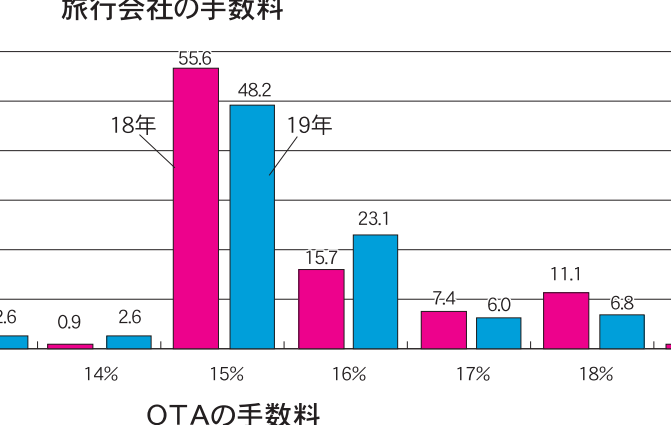
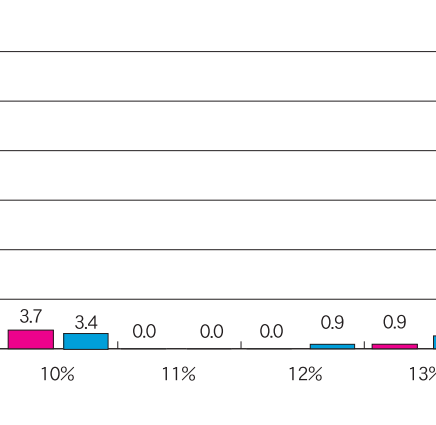
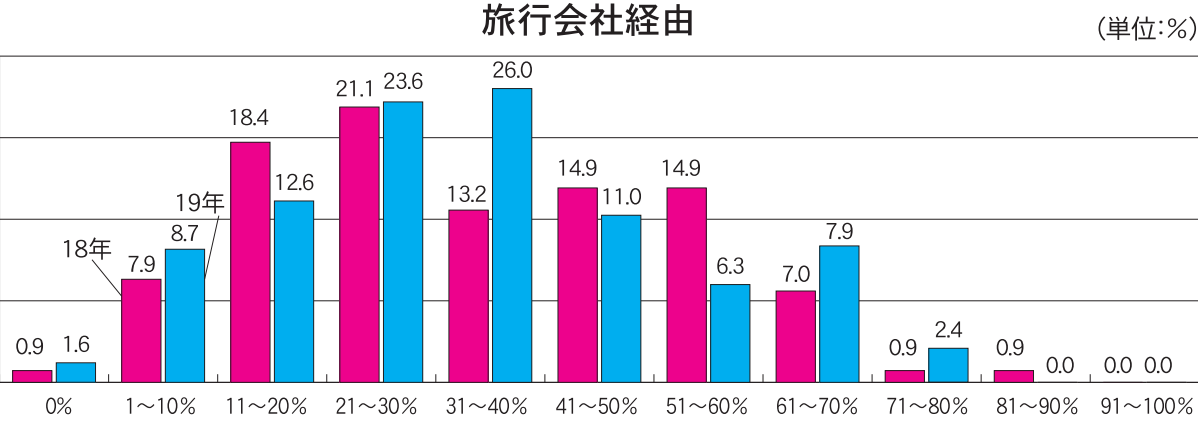
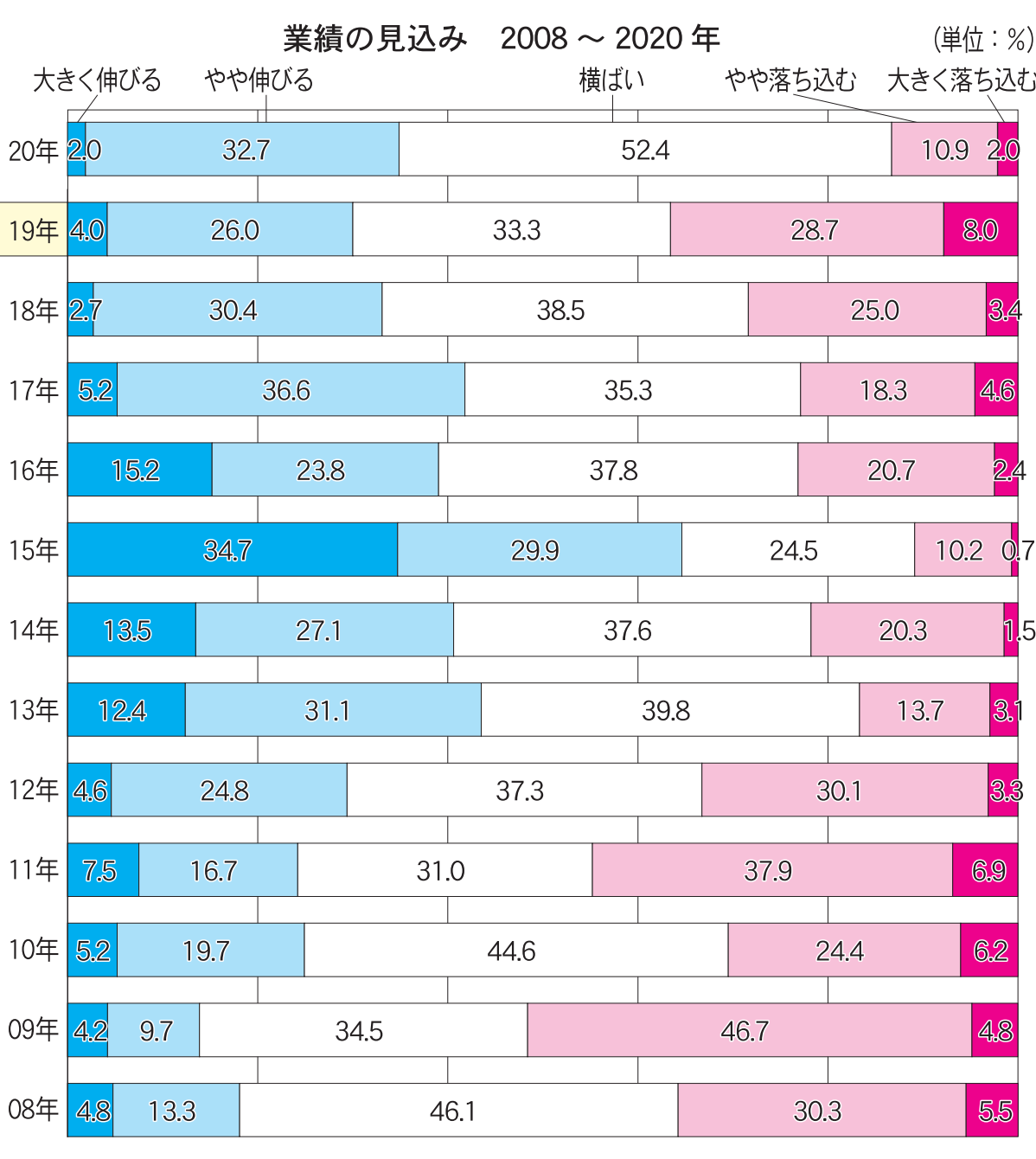
は高いか適正か⑧宿泊人員に占める外国人客の割合⑨外国人客を社員、パート・アルバイトとして採用しているか⑩などについて聞いた。
回答数は156軒。客室規模別では「10〜30室」が27軒、「31〜50室」が30軒、「51〜75室」が36軒、「76〜100室」が22軒、「101室以上」が41軒だった。

エージェント手数料は「高い」

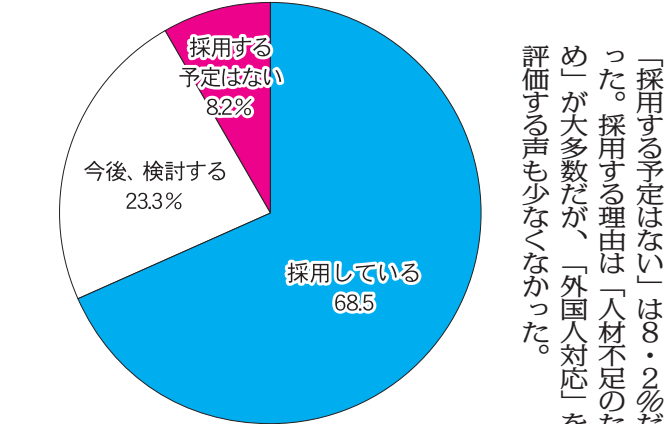
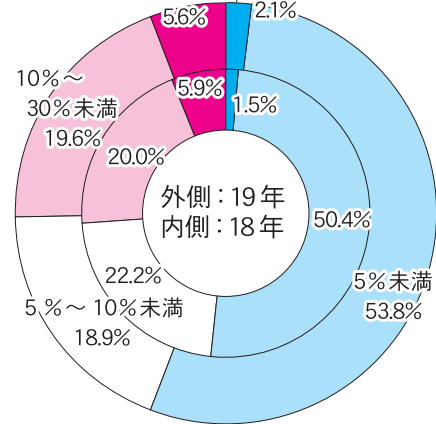
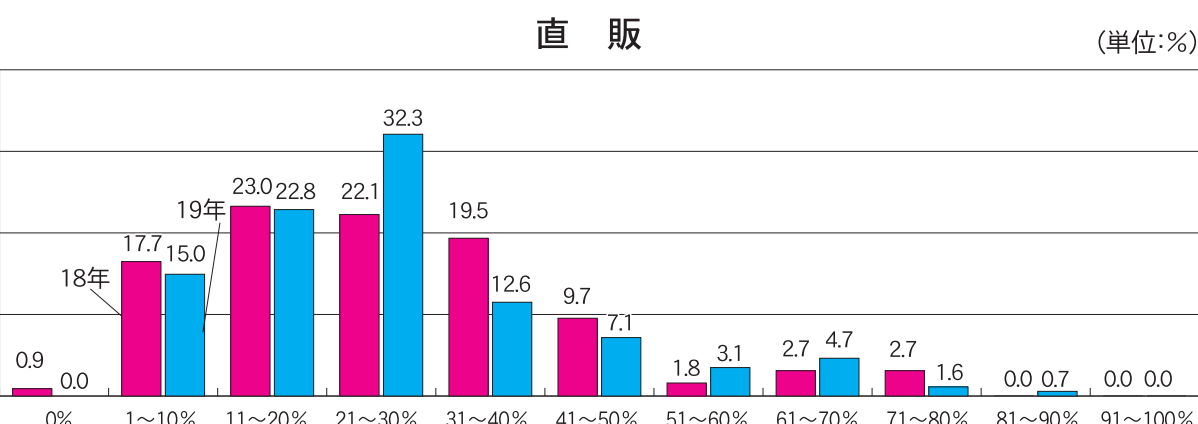
観光経済新聞社は、日本旅館協会の会員などの旅館に経営状況を聞くアンケート調査を2019年も実施した。19年の業績(見込み)について「大きく伸びる」「やや伸びる」「横ばい」「やや落ち込む」「大きく落ち込む」の5段階から選択して回答してもらった。20年の「やや落ち込む」「大きく落ち込む」が28.7%、「大きく落ち込む」が8.0%と前年より3.7%、4.6%それぞれ増加。旅館業績が落ち込んでいることが判明した。



「大きく伸びる」は4.0%、「横ばい」は33.3%、「大きく落ち込む」は8.0%と前年より3.7%、4.6%それぞれ増加。旅館業績が落ち込んでいることが判明した。



外国人客「5%未満」が最多
宿泊人員に占める外国人客の割合を聞くとしたが、53.8%と最多。以下、「10%以上30%未満」19.6%、「5%以上10%未満」18.9%、「30%以上55%未満」18.9%と比べると傾向に大きな変化はない。



外国人客「5%未満」が最多
宿泊人員に占める外国人客の割合を聞くとしたが、53.8%と最多。以下、「10%以上30%未満」19.6%、「5%以上10%未満」18.9%、「30%以上55%未満」18.9%と比べると傾向に大きな変化はない。

施設のご案内
●客室50室 ●露天風呂 ●温泉風呂付客室15(特別階「野の花亭」)
純和室5和室8ユニバーサルデザイン和室2和室31洋室4
全室バス・ウォシュレット付(専用洗面220名)見出し
露天風呂「富士の湯」(湯めぐりの湯)●富士山の湯(見物温泉)
露天風呂「天香の湯」(大浴場)●豪華 アルプスの湯「若草の湯」
●宴会場「富士楼」(200畳・和洋兼用付4分科)●宴会場
「小町」(個室付)●個室付「個室付」(個室付)●ホール「舞
台」(330㎡・せり出し・舞台付2分科)「天竺」(149㎡・2分科)
「こた座」(118㎡・ロビーラウンジ・観劇の湯)●茶室「若草庵」
●ホール「和室」●ホール「和室」●和室11号おみやげ
処「すずらん」●給水のお部屋(お天気の湯)●富士山展望台●駐車場
(乗用車100台)

多彩な温泉、旬彩の美食、日本の宿のおもてなし

見出し 露天風呂「湯めぐりの湯」
世界遺産の情景を眺める
[見出し 露天風呂]

富士山の恵みに癒される
[丸栄自慢の大浴場]

目も舌も潤う至福のとき
[季節が香る味覚膳]

特別階
「野の花亭」
「二回わすか玉の巻」
宿の中にある
もう一つの
小さな宿で
当館最高の
お料理・高
おもてなしに
お任せし
ていただきます。

花と清流に彩られた、
格調高く広々としたロビー

河口湖側スタンダード客室(一例)

ようこそ 若草の宿丸栄へ

日本の富士山のふもと、
四季折々の風情を映す河口湖のほとり、
世界遺産の大自然を舞台に、
「若草の宿丸栄」の旅物語がはじまります。

若草の宿丸栄へ

四季が織りなす湖畔の舞
富士河口湖温泉郷
政府登録国際観光旅館(登録1626号)
若草の宿
丸栄

〒401-0302 山梨県南都留郡富士河口湖町小立498
☎0555-72-1371
FAX:0555-72-2568
https://www.maruei55.com

若草の宿 検索